

日本天文学会 1965 年春季年会記事

本会の春季年会は5月7日より9日まで、の東大理学部2号館講堂で開かれた。今回は講演数74と、天文学研究将来計画についての特別シンポジウムとが組込まれた。

講演の部門別の数、および座長は次の通りである。

| | 部門別 | 講演数 | 座長 |
|---------------|---------------------------------------|-----|--------|
| 第1日午前 (7日) | 恒星系・星雲・星間物質 | 12 | 一柳 鐸木 |
| 〃 午後 | 同上 電波天文学 恒星内部構造 (講演番号24は取消し) | 17 | 清水, 高窪 |
| 第2日午前 (8日) | 太陽系 太陽物理学 | 12 | 藤田, 宮本 |
| 〃 午後 | 太陽物理学 恒星大気 位置天文学 | 19 | 荒木, 大野 |
| 第3日午前 | 位置天文学 | 13 | 中野, 池田 |
| 〃 午後 | シンポジウム 天文学研究将来計画について | | 一柳 |

8日正午より総会が開かれた。一柳理事長が議長となり、松波理事による昭和39年度会務報告、北村理事による昭和39年度会計報告及40年度予算案説明があり、何れも原案通り可決された。次いで次期理事長、副理事長の選挙および理事の指名があった。会務および会計報告、新役員は別項の通りである。

次に天体発見賞及功労賞の授与にうつり、次の諸氏が表彰された。

| | |
|---------|--------|
| 天体発見賞 | 富田弘一郎氏 |
| 天体発見賞 | 池谷 薫氏 |
| 天体発見功労賞 | 本田 実氏 |

富田弘一郎氏は昭和39年6月6日に彗星を発見され、池谷薫氏は昭和39年7月3日に彗星を発見された。また功労賞は富田-Gerber-本田彗星の発見に対して授与された。これらの方々に対する表彰状は別項に掲げる。

富田、池谷氏に対してはこの表彰状のほか賞牌、賞金2万円が贈られ、本田氏に対しては賞品として Vehrenberg の Stern-Atlas が贈られた。

昭和39年度会務報告

昭和39年度は本会創立57年度、社団法人設立後31年にあたる。

本年度に行なった事業

(f) 出版 (1) 欧文研究報告 Publications of the Astronomical Society of Japan

| | | |
|----------|------|------------|
| 第16巻 第2号 | 100頁 | 昭和39年6月発行 |
| 第16巻 第3号 | 104頁 | 昭和39年9月発行 |
| 第16巻 第4号 | 93頁 | 昭和39年12月発行 |

第17巻 第1号 109頁 昭和40年3月発行

(2) 天文月報 第57巻第5号から第58巻第4号まで毎月発行

(g) 年会 (1) 春季年会 昭和39年5月13, 14, 15日 東京 国立科学博物館講堂において開催
講演74 シンポジウム2 (佐藤友三, 青木信仰, 齊藤国治)

(2) 秋季年会 昭和39年11月13, 14日 京都 大学経済学部第5教室において開催
講演71 IAU 総会報告 (藤田良雄, 海野和三郎, 広瀬秀雄, 虎尾正久, 弓 滋)

(h) 東京天文台公開の後援 昭和39年10月17日(土) 午後2時から8時まで 台内設備および資料の公開を後援した。

総会および評議員会

(i) 総会 昭和39年5月14日(木) 東京国立科学博物館において 出席者約200名

議長 一柳理事長

議題 ① 昭和38年度 会務報告

② 昭和38年度 会計報告

③ 昭和39年度 予算案

④ 理事の後任の件

⑤ 名誉会員推薦

⑥ 評議員の後任の件

⑦ 評議員半数改選

(j) 評議員会 (1) 昭和39年4月20日(月) 東京大学理学部3号館において開催

議長 宮原 宣氏

議題 ① 昭和38年度 会務報告

② 昭和38年度 会計報告

③ 昭和39年度 予算案

④ 名誉会員推薦の件

⑥ 評議員の後任の件

⑥ 評議員の半数改選

(2) 昭和39年5月13日(水) 東京国立科学博物館において開催

議長 宮地政司氏

議題 ① 総会上提議案の確認

② 賛助会員の増加をはかる件

③ 評議員改選の方法の検討

(3) 昭和39年11月14日(土) 京都市において開催

議長 宮地政司氏

議題 ① 学会事務の増強の件

② 新事業に関する案の検討

その他の主な会務

- (イ) 昭和39年5月 新たに名誉会員に 荒木俊馬, 池田徹郎, 神田 茂, 萩原雄祐の4氏を推薦決定した。
- (ロ) 昭和39年5月 評議員の半数改選を行ない, 前評議員神田 茂氏の後任として島村福太郎氏を決定した。
- (ハ) 昭和39年8月 昭和39年7月30日に逝去された名誉会員早乙女清房氏に対し, 理事長より弔辞を送った。
- (ニ) 昭和39年10月 昭和39年度研究成果刊行補助金として文部省より本会欧文報告に対し 240,000 円が交付された。
- (ホ) 昭和39年10月 大塚奨学金 60,000 円を本会会員加茂 昭氏に贈呈することに決定した。
- (ヘ) 昭和39年秋 新たに賛助会員多数の入会が決定した。

会員数および役員等

- (イ) 会員数 名誉会員 6 (3)
通常会員 1550 (1243)
特別会員 250 (252)
賛助会員 56 (12)

ただし()内は昨年度の数

総会において昭和40年度より向う2カ年間の新役員として次の諸氏が選任された。

◇ 次期理事長, 副理事長

評議員会の推薦にもとづき次の各氏が次期理事長および副理事長に選任された。

理事長 広瀬秀雄

副理事長 奥田豊三, 長沢進午

◇ 理事

広瀬新理事長より次の諸氏が理事に指名された。

庶務 赤羽賢司, 会計 西 恵三

編集 (欧文報告) 末元善三郎, 河鱒公昭, 寿岳 潤

(天文月報) 下保 茂, 関口直甫, 成相恭二

水沢 須川 力, 仙台 高窪啓弥, 京都 川口市郎,

中国・四国 三沢邦彦

昭和39年度会計報告 (収支決算書)

(自昭和39年4月1日 至昭和40年3月31日)

(経常部)

| 収 入 | | 支 出 | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 前期繰越金 | 88,497 | 欧文報告調製費 | 1,181,356 |
| 会 費 | 1,244,696 | 欧文報告複製費 | 553,850 |
| 欧文報告販売 | 964,486 | 天文月報調製費 | 1,085,100 |
| 天文月報販売 | 229,228 | 諸印刷物調製費 | 234,430 |
| 諸印刷物販売 | 726,000 | 送料通信費 | 249,043 |
| 欧文報告委託出版 | 350,000 | 交 通 費 | 69,430 |
| 欧文報告刊行補助金 | 240,000 | 定 会 費 | 97,228 |
| 印 税 | 231,932 | 謝 金 | 78,465 |
| 預 金 利 子 | 12,102 | 人 件 費 | 299,950 |
| 大塚奨学金利子 | 75,000 | 物 品 費 | 255,595 |
| 雑収入 (含広告料) | 469,403 | 設 備 補 修 費 | 235,000 |
| | | 大塚奨学会 | 60,000 |
| | | 雑 費 | 126,838 |
| | | 次期繰越金 | 105,059 |
| 合 計 | 4,631,344 | 合 計 | 4,631,344 |

(臨時部)

| | | | |
|------|---------|-------|---------|
| 賛助会費 | 700,000 | 次期繰越金 | 700,000 |
| 合 計 | 700,000 | 合 計 | 700,000 |

支部理事 (水沢) 若生康二郎 (仙台) 菊地定衛門
坂下志郎, 細川良正 (京都) 柿沼正二, 杉本大一郎
中井善寛 (中国・四国) 石田五郎 (東京) 大城義
名, 大脇直明, 尾崎洋二, 甲斐敬造, 檀原 毅, 北村
正利, 古在由秀, 田鍋浩義, 辻 隆, 石田憲一, 平山
淳, 松波直幸, 森本雅樹

なお欧文報告編集および大塚奨学金の委員には次の諸氏がそれぞれ指名された。

◇ 欧文報告編集委員 海野和三郎, 奥田豊三, 大沢清輝, 清水 彊, 田中春夫, 林忠四郎, 一柳寿一, 広瀬秀雄, 宮本正太郎

◇ 大塚奨学金選考委員 石田五郎, 奥田豊三, 下保茂, 長沢進午, 一柳寿一, 宮本正太郎

富田, 池谷, 本田各氏への表彰状

表 彰 状

日本天文学会会員 富田弘一郎殿

あなたは, 昭和39年6月6日18時0分(世界時)に新彗星を発見されました。本会は, 評議員会の議決によりここにあなたが, 天文学の進歩および普及に特別の

功労があったものとして賞牌並びに金一封を贈呈して表彰する次第であります。

昭和40年5月8日

社団法人日本天文学会
理事長 一柳寿一

表彰状

日本天文学会会員 池谷 薫殿

あなたは、昭和 39 年 7 月 3 日 18 時 15 分（世界時）に新彗星を発見されました。本会は、評議員会の議決によりここにあなたが、天文学の進歩および普及に特別の功労があったものとして賞牌並びに金一封を贈呈して表彰する次第であります。

昭和 40 年 5 月 8 日

社団法人 日本天文学会
理事長 一柳寿一

表彰状

日本天文学会会員 本田 実殿

あなたは、昭和 39 年 6 月 9 日 18 時 15 分（世界時）に新彗星を独立発見されました。本会は、評議員会の議決によりここにあなたが、天文学の進歩および特別の功労があったものとして記念品を贈呈して表彰する次第であります。

昭和 40 年 5 月 8 日

社団法人 日本天文学会
理事長 一柳寿一

学会だより

◇ 大塚奨学金希望者募集

昭和 40 年度の大塚奨学金を受けることを希望される方は 9 月 10 日までに下記の事載の上、“三鷹市大沢東京天文台内社団法人日本天文学会理事長”宛御申込下さい。

- (1) 氏名、生年月日、年令、性別
- (2) 現住所
- (3) 学歴
- (4) 職業
- (5) 研究題目
- (6) 内地留学をしたいと思う研究機関
- (7) 内地留学を希望する期間と日程の予定
- (8) 奨学金として支給を希望する額
- (9) これまでのおもな研究経歴

註) 大塚奨学金は、日本国内の特定の研究機関で、天文学およびそれに関連する分野の研究を目的とする短期間の内地留学のための旅費および滞在費として支給されるもので、原則として毎年本会会員一名に 6 万円を授与いたします。なお詳細は会員名簿附録、あるいは天文月報第 54 巻 12 号 241 頁の“大塚奨学金に関する内規”を

御参照下さい。疑問の点については日本天文学会宛に直接御質問をおよせ下さい。

なお昭和 36 年にこの奨学金が設けられてからの経過は次の通りです。

昭和 37 年度 早川和夫氏

「月面反射の偏光測定並に月面構造の応用地質学的研究」

昭和 38 年度 林 耕輔氏

「木星の模様」

昭和 39 年度 加茂 昭氏（決定）

「写真流星の軌道計算」

◇ 会計係より

いまだに通常会費として 400 円を御送金下さる方がありますが、通常会費は昭和 38 年度より 1 年分 600 円に改訂されております。お間違えなきよう願います。

地方より、小切手で送金下さる時は、会費よりも 100 円分余計にお送り下さい。銀行に持参しますと、小切手発行地と照合をいたしますので、手数料として 100 円だけ、当学会が負担しなければなりません。

なお、切手による御送金は、会計帳簿の整理上、大変困りますので、なるべく御遠慮下さるよう、お願いいたします。当会としましては、現金書留の封筒を利用する御送金を、一番歓迎します。

◇ 日本学術会議中央選挙管理会よりの告示

本年 4 月の学術会議総会で、会員選挙規則の一部を改正することが決定され、5 月 4 日付官報では公布、施行されました。これに伴い、中央選挙管理会では、有権者名簿の取扱いを、次のとおりすることを決定しました。

今回の規則改正（5 月 7 日）ならびに管理会の決定は本年 11 月 25 日が選挙期日である日本学術会議第 7 期会員選挙から適用されます。これにより、所属地方区の変更を伴う異動届は 7 月 20 日までに提出されたもの限り、有権者名簿を修正しますが、それ以後に提出された場合には、有権者は、地方区選挙については、選挙期日現在の勤務地あるいは住所には関係なく、名簿記載の地方区に所属するものとして投票することになります。

◇ 渋川春海 250 年記念事業について

江戸時代の暦学の鼻祖といわれる渋川（保井）春海が歿してから、今年は 250 年目に当たります。この時に当り、日本天文学会としては、先人の遺績を顕彰するため、国立科学博物館と共催で、本年 9 月 12 日より 10 月 24 日まで、東京上野の科学博物館において“渋川春海展”を開催し、これに伴う講演会等を行うことになり、目下準備が進行中であります。